

特別支援学校における 「主体的・対話的で深い学び」 の実現に向けた授業改善 ～「単元構想シート」作成・活用編～

本リーフレットで紹介する「単元構想シート」は、特別支援学校における主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善のプロセスを示すものとして、調査研究協力校との協働研究を通じて作成しました。

「単元構想シート」が、日々の授業づくりや研修会等、様々な場面で活用され、障害のある児童生徒の学習の充実につながることを期待します。



「単元構想シート」について



主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善って、何から始めればいいのか？

単元や題材のまとまりごとに授業を改善するって、どうすればいいのか？

このような疑問に答えるために活用していただきたいのが、
「単元構想シート」です！



「単元構想シート」
を書くことで…



身に付けさせたい資質・能力が整理しやすい！

引き出したい子供たちの学びの姿がイメージしやすい！

単元構成や授業時数の工夫を考えやすい！



「単元構想シート」を作成することで、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、学習指導要領の要点を押さえつつ、単元のまとまりを見通した授業改善を図ることができます。



長崎県教育センター
令和2年3月

「単元構想シート」を書いてみよう！

「単元構想シート」を書くことで、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に必要な情報を整理することができます。

単元構想シート

学部・学年	
教科・単元名・時数	

1 児童生徒の実態

- 単元の学習に関する児童生徒の実態（興味・関心、障害による学習上の困難等）、既習内容（教科等横断的な視点に関連した内容等も含む）を把握し記入します。

2 単元の目標

- 資質・能力の三つの柱（「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」）に沿って記入します。学校、各部の目標や育てたい資質・能力等、学習指導要領解説をもとに教科等横断的な視点を視野に入れることも大切です。

 [ポイント①参照](#) ➡

3 単元における見方・考え方

- 児童生徒が働かせる見方・考え方を記入します。学習指導要領解説を参考に、教科における見方・考え方を、単元における内容や教材を参考に具体化します。

 [ポイント②参照](#) ➡

4 単元構成の工夫

- 題材配列や時数設定、単元を通じた手立ての工夫について記入します。どのような目的で、どのように工夫するのか意図を明らかにし具体化します。

 [ポイント③参照](#) ➡

5 単元計画

題材名	時数	学習する主な内容	主体的・対話的で深い学びを実現するための指導上の工夫	評価の観点		
				知・技	思・判・表	主
				・単元の目標の達成に向けた、題材の流れを記入します。児童生徒の思考の流れを考えながら、学習する主な内容や主体的・対話的で深い学びを実現するための指導上の工夫、評価の観点を整理します。 ・評価の観点は「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」です。単元の目標や内容に照らして、各題材でどの観点を主に評価するのかを整理します。		

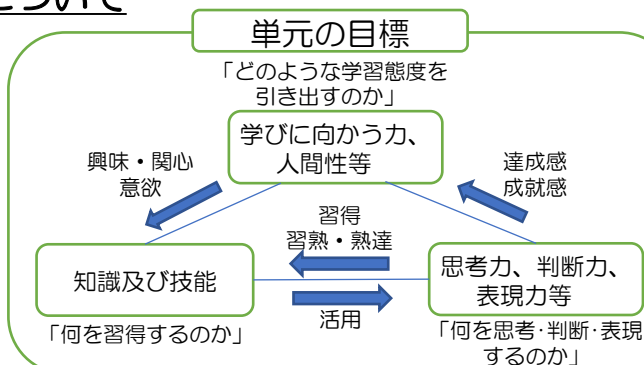
「資質・能力」「見方・考え方」「主体的・対話的で深い学びを引き出す工夫」「評価の観点」を整理することで、主体的な学び、対話的な学びを引き出しながら深い学びへとつながるように題材の配列や時数など単元全体をデザインするための様式になっています。





ポイント① 「単元の目標」について

資質・能力の三つの柱、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」はそれぞれが関連しています。単元を通じて、新たな知識や技能として何を習得するのか。得た知識や技能を活用し、何を思考、判断、表現できるようにするのか。その過程で、どのような学習に取り組む態度を引き出すのか。学習指導要領と照らし合わせながら具体的な目標とすることが大切です。



ポイント② 「単元における見方・考え方」について

学習指導要領において、見方・考え方は、「各教科等の特質に応じた物事を捉える視点や考え方」と示されています。また、深い学びに関して、「各教科等の学びの深まりの鍵となるのが見方・考え方である」と示されています。単元構想において、児童生徒がどのような見方・考え方を働かせ深い学びとするのか想定することが重要です。

「単元における見方・考え方」を想定する流れ

- ①学習指導要領における教科の見方・考え方の確認
- ②学習指導要領における教科の思考力、判断力、表現力等の内容と見方・考え方との関連
- ③既習の知識及び技能との関連

例：高等部1段階 数学 単元名「分数」

学習指導要領には「数のまとまりに着目し」と書いてあるけど、どのような数のまとまりに着目したらいいのかな



分数の意味や表し方は学んでいるから、この単元では1/〇という単位分数のまとまりに着目してほしい

※令和2年発行の小学校、令和3年発行予定の中学校の教科書や指導書には見方・考え方が具体的に示されています。小学校、中学校に準ずる教育課程における教科の授業のみならず、知的障害のある児童生徒の各教科においても参考にすることができます。

ただし、特別支援学校においては児童生徒の実態に応じて、児童生徒が見方・考え方を働かせるための工夫が欠かせません。参考とした見方・考え方を働かせるようように手立てを工夫していきましょう。



ポイント③ 「単元構成の工夫」について

単元構成を考える際は、児童生徒の学びの姿を想定することが大切です。単元における資質・能力を育成するために、主体的な学び、対話的な学び、深い学びの姿をどのような場面で引き出すのか単元の構成を工夫しましょう。

例：高等部1段階 数学 単元名「分数」

主体的な学び

興味・関心を高めるために、身近なものを操作しながら、単位分数で表せるようにしましょう！



このジュースは1/3の3個分！



題材名

分数の意味

分数の表し方

分数のたし算、ひき算

対話的な学び 深い学び

話合いを通じて、分数の足し算の方法を考えさせてみよう！

1/5と2/5を足すんだから、3/10になるんじゃない？



1/5と2/5を足すと1/5の3つ分になるよね



「単元構想シート」を活用しよう！

①日々の授業づくりにおける活用

授業づくりのPDCAサイクルの中で、「単元構想シート」を活用することで主体的・対話的で深い学びの視点での授業改善が充実します。

①単元のデザインを考えるメモ書きとして

整理したい項目から書く、キーワードを書いて整理するなど、まずは気軽に書いてみることをお勧めします。

単元構想シートを書くことではなく、授業改善を図ることが目的ね！

②複数の教員で共通理解を図るためのツールとして

授業者が、児童生徒に見方・考え方をどのように働かせてほしいと考えているのか、児童生徒の学びを引き出すために手立てをどのように工夫しているのか、一緒に授業する教員にどのように働き掛けてほしいのかなど、授業者の意図を共有するツールとして有効です。



①児童生徒の学びの姿から授業を評価するためのツールとして

各題材の主な手立てに対して、授業者の意図した学びの姿が見られていたかについて単元構想シートに追記することで、単元全体の見直しにつながります。

指導と評価の一体化を図るためにも記録が必要ね！

②学習の状況の評価するツールとして

評価の観点に基づいて、学習の状況を単元構想シートに追記することで、単元を通じた評価を捉えやすくなります。



①次の授業改善につながる情報を把握するためのツールとして

更に改善の必要を感じたことを朱書き等で加えていくことで、授業の改善の経緯が把握しやすくなり、より効果的な単元構成や教材教具等が考えやすくなります。

保管していくことで、年間を通じた単元の配列を検討するための参考にもなるわ

②次年度の教育課程につなげるツールとして

単元構想シートを保管し記入した情報を共有することで、次年度の教育課程を検討する資料とすることができます。



単元構想は、一度考えれば終わりというものではありません。単元を通じて授業の形成的評価を行いながら、授業の前後のつながりや、単元間の関連を確認し、更に効果的な授業づくりを構想していくことが大切です。



②学校組織における活用

「単元構想シート」は授業者個人だけでなく、学校組織として活用することで研修・研究、教育課程の編成等に生かせるツールになります。

○授業研究の資料として

授業研究の資料として活用することで、参観者が主体的・対話的で深い学びの視点で検証しやすくなります。

特に深い学びの鍵となる見方・考え方については、教科の特質に応じて異なります。担当教科外の授業研究に参加する際には、授業者の「単元構想シート」を参考にすることで、該当教科の見方・考え方を捉え、児童生徒の学びの姿から授業を検証することができます。

なるほど、今の問いが見方・考え方を働かせる問いになっているんだ



○経年経過研修等、校内研修の資料として

「単元構想シート」を記入していくことが、各教科等の学習指導要領の理解につながります。今から実施する単元において、児童生徒は「何を学ぶのか」、主体的・対話的で深い学びを実現するべく、児童生徒は「どのように学ぶのか」、そして、単元終了後、児童生徒は「何を身に付けるのか」、一つ一つ整理して授業に臨むことが、指導力の向上につながります。

本単元の見方・考え方は、これであってますか？



学習指導要領解説には、このように示してあるよ！



○「単元構想シート」の様式を工夫し校内研究や教育課程の編成のための資料として

「単元構想シート」は主体的・対話的で深い学びを実現するために、日々の授業づくりで活用するために作成しています。さらに、「単元構想シート」の様式を精選したり、授業評価の欄を加えたりすることで、授業者一人一人がカリキュラム・マネジメントにつながるツールとして活用できます。

自校の各教科における見方・考え方をデータベース化できないかな



様式の簡略化と評価の欄を設けて単元の記録にしたら、教育課程の編成に生かせるかも



「単元構想シート」の様式、「単元構想シート」の記入例は、長崎県教育センター学校支援サイト「玖島の杜」の特別支援教育研修班の部屋からダウンロードできます。当センター講座で案内するID、パスワードを入力してご利用ください。

<https://www.edu-c.news.ed.jp/kushimanomori/htdocs/>



参考となる資料

①ピクトグラム一覧（独立行政法人教職員支援機構 <https://www.nits.go.jp/>）



独立行政法人教職員支援機構（NITS）では、主体的・対話的で深い学びで実現したい子供の姿をピクトグラム一覧として紹介しています。「単元構想シート」を考える際の参考にしてください。

NITSには他にも、主体的・対話的で深い学びに関連した様々なオンライン研修講座などが紹介されています。

主体的な学び		対話的な学び		深い学び	
	興味や関心を高める		互いの考えを比較する		思考して問い続ける
	見通しをもつ		多様な情報を収集する		知識・技能を習得する
	自分と結び付ける		思考を表現に置き換える		知識・技能を活用する
	粘り強く取り組む		多様な手段で説明する		自分の思いや考えと結び付ける
	振り返って次へつなげる		先哲の考え方を手掛かりとする		知識や技能を概念化する
			共に考えを創り上げる		自分の考えを形成する
			協働して課題解決する		新たなものを創り上げる

②「学習評価の在り方ハンドブック」

（国立教育政策研究所 <https://www.nier.go.jp/index.html>）



国立教育政策研究所では、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等における学習評価について、教員向け資料「学習評価の在り方ハンドブック」小・中学校編と高等学校編を発行しています。

学習評価の基本的な考え方やポイント等について解説してありますので、単元の評価を考える際の参考にしてください。



③「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」

（長崎県教育センター <https://www.edu-c.news.ed.jp/>）



当教育センターでは、主体的・対話的で深い学びに関連したリーフレットを発行しています。各学校の研修や授業づくりに活用してください。



④「カリキュラムマネジメント通信」

（長崎県教育センター <https://www.edu-c.news.ed.jp/>）



当教育センターでは、「カリキュラム・マネジメント」に関連した通信を発行しています。各学校の研修や授業づくりに活用してください。

